

殺陣師段平 (1962)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 86分
初公開日 1962/09/30
公開情報 大映

【解説】

1950年にマキノ正博により映画化された長谷川幸延の同名戯曲をリメイク。脚本は前作同様「椿三十郎」の黒澤明が担当し「薔薇と龍」の瑞穂春海が監督した。中村鴈治郎が存在感のある演技で、主役の市川段平を見事に演じて見せた。

芸術に偏りがちな演劇に危機感を抱いた沢田正二郎は、松井須磨子の芸術座を脱退し「新国劇」を創立した。しかし旗揚興行は失敗に終わり、沢田は一座を率いて東京を出た。剣戟ものに活路を見出そうとする沢田は、市川段平の殺陣が古いと非難しリアルな立ち回りを要求するのだったが、段平にはリアルがどんなものか分からない。酒を飲んで酔った段平は喧嘩をしてしまうが、そこから新しい立ち回りのヒントを得た。一座の公演と殺陣は評判を呼び、東京に戻った一座の明治座興行は成功するのだった。

【クレジット】

監督 瑞穂春海
企画 税田武生
原作 長谷川幸延
脚本 黒澤明 Akira Kurosawa
撮影 今井ひろし
美術 加藤茂
音楽 高橋半
出演 市川雷蔵
中村鴈治郎
高田美和
田中絹代
山茶花究
上田吉二郎
須賀不二男
深見泰三
真城千都世
浪花千栄子
毛利郁子
西岡慶子
伊達三郎
寺島雄作
近江輝子
水原浩一

